


もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	観光振興課	氏名	野津知恵
派遣先 団体名	NPO法人 もりふれ倶楽部		
【研修の日時】			
<p>①6月19日（水）雲南市立西小学校第1回みーもスクール</p> <p>②6月22日（土）さくらおろち湖の里山ボランティア第1回「竹は使ってこそおいしいのだ」</p> <p>③6月28日（金）みーもサマースクール（古江小学校）</p> <p>④7月15日（月・祝）森林ボランティア（出雲市佐田町目田森林公園）</p> <p>⑤7月27日（土）第1回早朝自然観察会（ふるさと森林公園）</p> <p>⑥9月16日（月・祝）森林ボランティア（松江市出雲郷幼児園うぐいす山）</p> <p>⑦11月12日（火）しまね森づくり Kommission 宍道小学校出前講座</p>			
【研修の内容・感想】			
<p><各活動について></p> <p>①雲南市立西小学校第1回みーもスクール</p> <p>島根県みーもスクールの一環で、雲南市立西小学校4年生を対象に「オープニング講座」と「樹木観察会」が行われました。雲南市立西小学校は、校内に「岩熊の森」があり、森の間伐材を利用した遊具等もあり、森との係わりが身近な学校でした。毎年4年生は総合的な学習の時間を中心に、1年間かけて「岩熊の森」を通じた森林・樹木学習を行っているそうです。</p> <p>オープニング講座では紙芝居「みーもくんの冒険」を活用し、森と川と海のつながりや、今の森林で起きている間伐の遅れによる問題等を学びました。</p> <p>森林インストラクターとの樹木観察会では、雨天のため「岩熊の森」へ行くことができず、県東部農林申告センター雲南事務所が作成している『「岩熊の森」の樹木』という冊子を活用しながら「岩熊の森」から採取した樹木の枝等を使って、室内で樹木観察学習を実施しました。</p> <p>葉をちぎると中の繊維が残るハナミズキの葉でゲームをするなど、楽しい観察学習となりました。</p>			
			
<p>②さくらおろち湖の里山ボランティア第1回「竹は使ってこそおいしいのだ」</p> <p>NPO法人さくらおろちが主催し、NPO法人もりふれ倶楽部が企画・運営に協力をしているそうです。森林インストラクターの指導のもと、参加者の皆さんで竹筒や竹フライパン、竹椀を作り、竹筒で炊いたごはん、竹フライパンで作ったオムレツ、竹椀に入れた豚汁を楽しく食べました。食後は竹林を整備するボランティア活動を行い、最後は温泉地区交流施設で里山の竹とのかかわりについて講義が行われました。</p>			



(竹筒ご飯作り)



(竹林整備ボランティア)



(里山と竹についての講義)

③みーもサマースクール (古江小学校)

島根県みーもサマースクールの一環として、森林散策、飾り炭づくり、たき火クッキーづくり、ネイチャークラフト体験を実施しました。

森林散策では、ふるさと森林公園内の森を散策しながら、午後のネイチャークラフトで使う葉っぱを集めました。その後、ふるさと公園内のかまどを利用し、飾り炭とクッキー作りを体験しました。(飾り炭…松ぼっくりや木の枝などをアルミホイルに包んで缶に入れてかまどへ→缶から煙と炎が出たらとりだし、水に浸した雑巾で冷やす→飾り炭の出来上がり！)

最後は、午前中に集めた葉っぱなどを使ったネイチャークラフト体験として、子どもたちが自由に葉や花を並べ、思い思いの作品を作りました。



(飾り炭)



(たき火クッキー)



(ネイチャークラフト)

④森林ボランティア (出雲市佐田町目田森林公園)

長い間使用されていなかった展望広場への遊歩道の復活を目指し、ナラ枯れなど倒木のおそれがある木の伐倒・展望広場の刈り払い、遊歩道の刈り払いと集積等を実施しました。



⑤第1回早期自然観察会 (ふるさと森林公園)

ふるさと森林公園において早期自然観察会を実施しました。大雨の中での観察会になってしまいましたが、ウバユリなど、この時期ならではの花や実を見つけ、季節を感じることができました。

⑥森林ボランティア（松江市出雲郷幼稚園うぐいす山）
出雲郷幼稚園の園庭にある「うぐいす山」の広葉樹の
間伐作業を実施しました。

多くの木々で日光が遮られていたり、散策するのが難
しい状況だったかったところ、間伐作業により子どもた
ちが散策しやすいよう整備されました。



⑦しまね森づくり Kommission 中央道小学校出前講座
森の大切さに関する講義とネイチャーゲームを行いました。

ネイチャーゲームでは、2人1組で一方が目隠し、一方が案内をする目隠し歩きが行われました。目隠しをしながら校庭の木々を触ったり、川の音を聞くことで、自分たちの身近にある自然の音や温度、におい、肌ざわりを感じました。

<全体を通して>

これまで森林に関わる活動をしたことがなく、ほぼ全てがはじめて経験することでしたが、もりふれ倶楽部の皆様に快く受け入れていただき、面白い植物について教えていただくなど、私自身も楽しみながら参加することができました。

参加して最初に驚いたのが、毎週のように体験イベントを企画・運営され、また平日は小学校の出前講座などを行われるという、その活動の活発さでした。活動内容も、みーもスクールなど、県の事業を実施している活動もあり、まさに島根の森林を支えておられると感じました。

子どもを対象とした活動では、ネイチャーゲームなど、まずは興味を持ってもらうところからはじまり、それに加えて紙芝居やスライドなどによる講義が組み合わされており、子どもたちが楽しく学んでいました。

その他の体験活動でも、竹筒ご飯作りや竹細工作りなど、普段の生活ではできない体験を、スタッフの皆さんのサポートにより、誰でも手軽に体験できるようになっており、小さいお子さんとご両親や、年配のご夫婦など、色々な世代の方が、皆さん楽しそうに参加していました。森林に関する問題は決して簡単ではありませんが、常に楽しく（時にはおいしく）自然と触れ合いながら自然について学んでおられたのが非常に印象的でした。また、このように楽しく自然と触れ合えるのも、スタッフの皆様1人1人の支えがあるからこそ、という事を強く感じました。

また、食に絡めた取組や、実際に現地に行く活動などは、その地域に根付く食文化なども見直すこともでき、地元の方だけでなく、県内外の方にとって非常に魅力的な取組だと感じました。

また、体験イベントの企画・運営を行う一方で、ナラ枯れなどで倒木のおそれがある木を伐採したり、間伐を行ったりという、森が生きていくために必要な取組を、しかもボランティアで行っておられる点に、皆さんの意識の高さを感じ、頭の下がる思いがしました。

このような方々の取組によって森が支えられているという事を、多くの方に知っていただきたいと思い、私自身もまわりの方に伝えたいと思いました。

最後になりましたが、もりふれ倶楽部の皆様には、活動の度にいつも快く受け入れていただきました。大変ありがとうございました。

【その他特記事項】